

平成28年度

仙台市国民健康保険事業特別会計

予算案(概要)について

1 国民健康保険事業特別会計の平成 28 年度予算編成について

高齢化の進展，医療の高度化に伴う医療費の増嵩により国保の財政は，依然として厳しい状況である。このような状況の下，平成 28 年度予算編成においては，必要な経費を見込みつつ，適切な予算編成を行う方針である。

(1) 被保険者数・世帯数

- ① 被保険者数・世帯数については，震災の影響を除いた 1 年あたりの伸び率から推計している。平成 28 年度は，世帯数，被保険者数ともに減少する一方，前期高齢者は増加する見込みである。

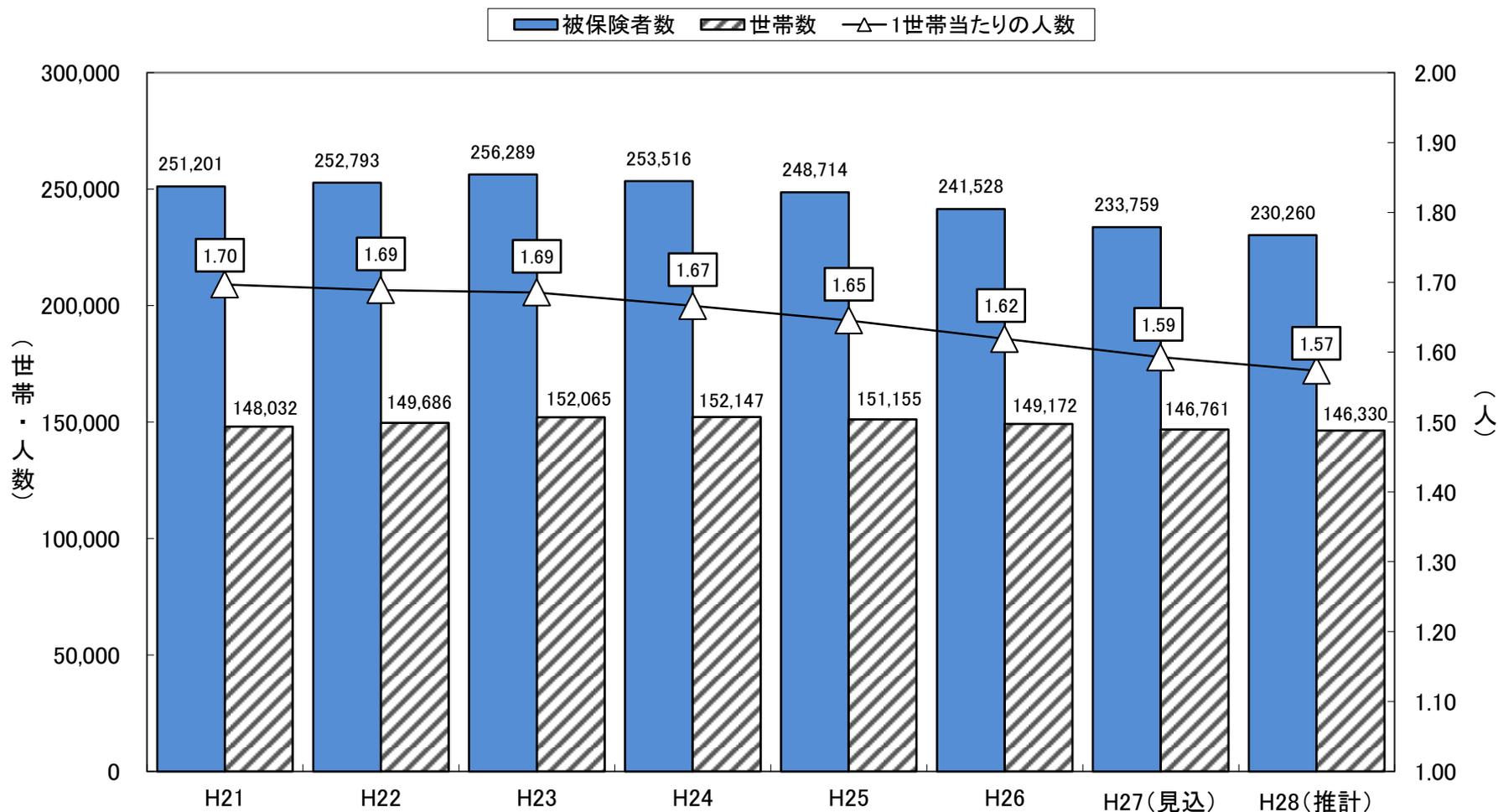
(2) 歳出

- ① 保険給付費については，震災の影響を除いた 1 年あたりの伸び率から推計している。
- ② 後期高齢者支援金については，被保険者 1 人当たりの負担額は増加するものの，過年度支出分の精算により返戻額が発生することから納付額は減少する見込みである。
- ③ 介護納付金については，被保険者 1 人当たりの負担額は増加するものの，第 2 号被保険者数が減少すること及び過年度支出分の精算により返戻額が発生することから，納付額は減少する見込みである。
- ④ 共同事業拠出金については，拠出対象医療費の減により，減少する見込みである。

(3) 歳入

- ① 保険料については，一般会計繰入金が増により，全体として減少する見込みである。
- ② 国庫支出金については，震災に伴う特別調整交付金が減少する一方，国庫負担金が増加するため，微増となる見込みである。
- ③ 前期高齢者交付金については，過年度収入分の精算により返納額が発生することから，交付額は減少する見込みである。
- ④ 共同事業交付金については，交付対象医療費の減により，減少する見込みである。

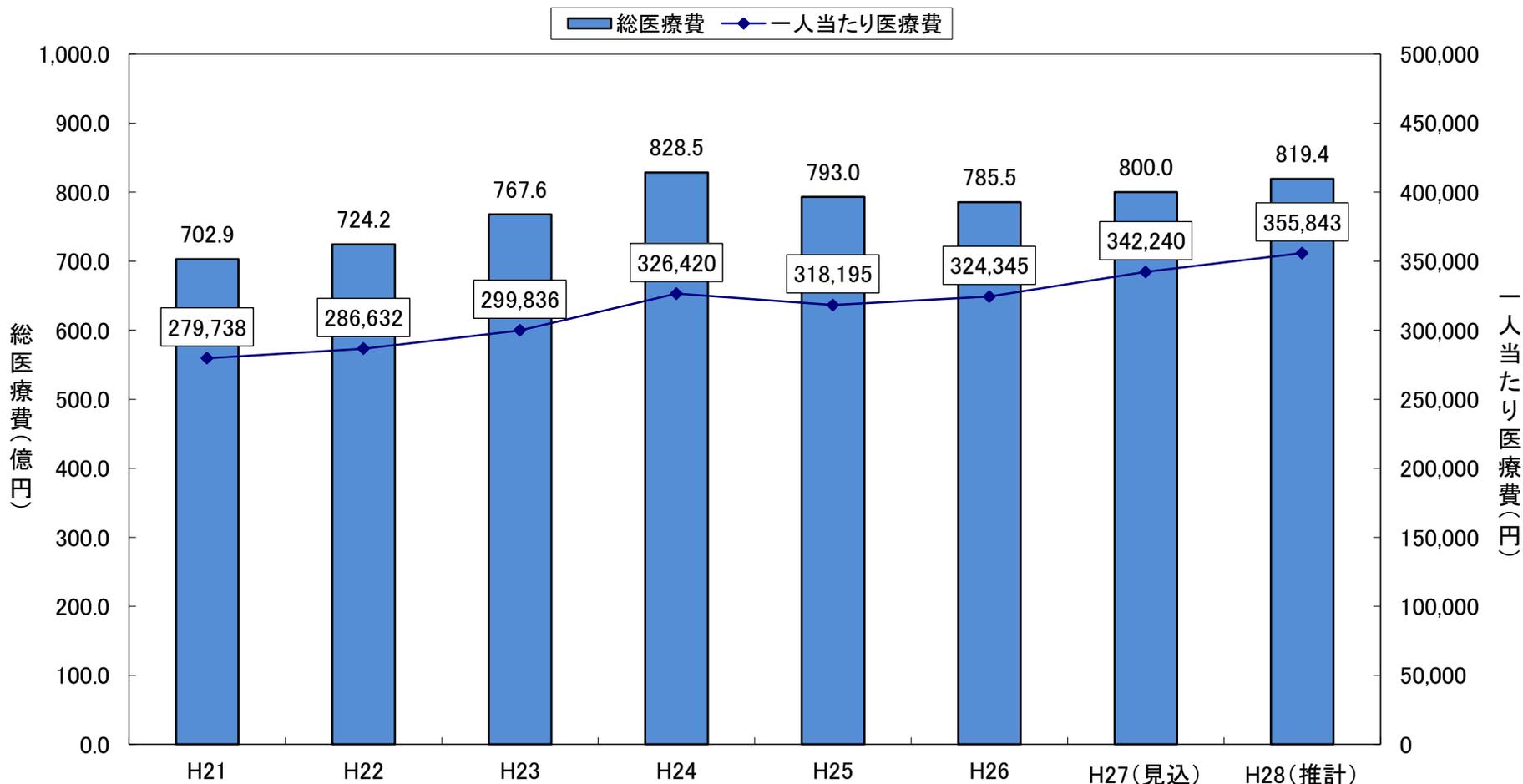
2 世帯数・被保険者数の推移



注1) H21～H26は各年度の4月～翌3月平均。H27は見込。H28は予算編成時の推計(以下、同じ)。

注2) 一般被保険者＋退職被保険者

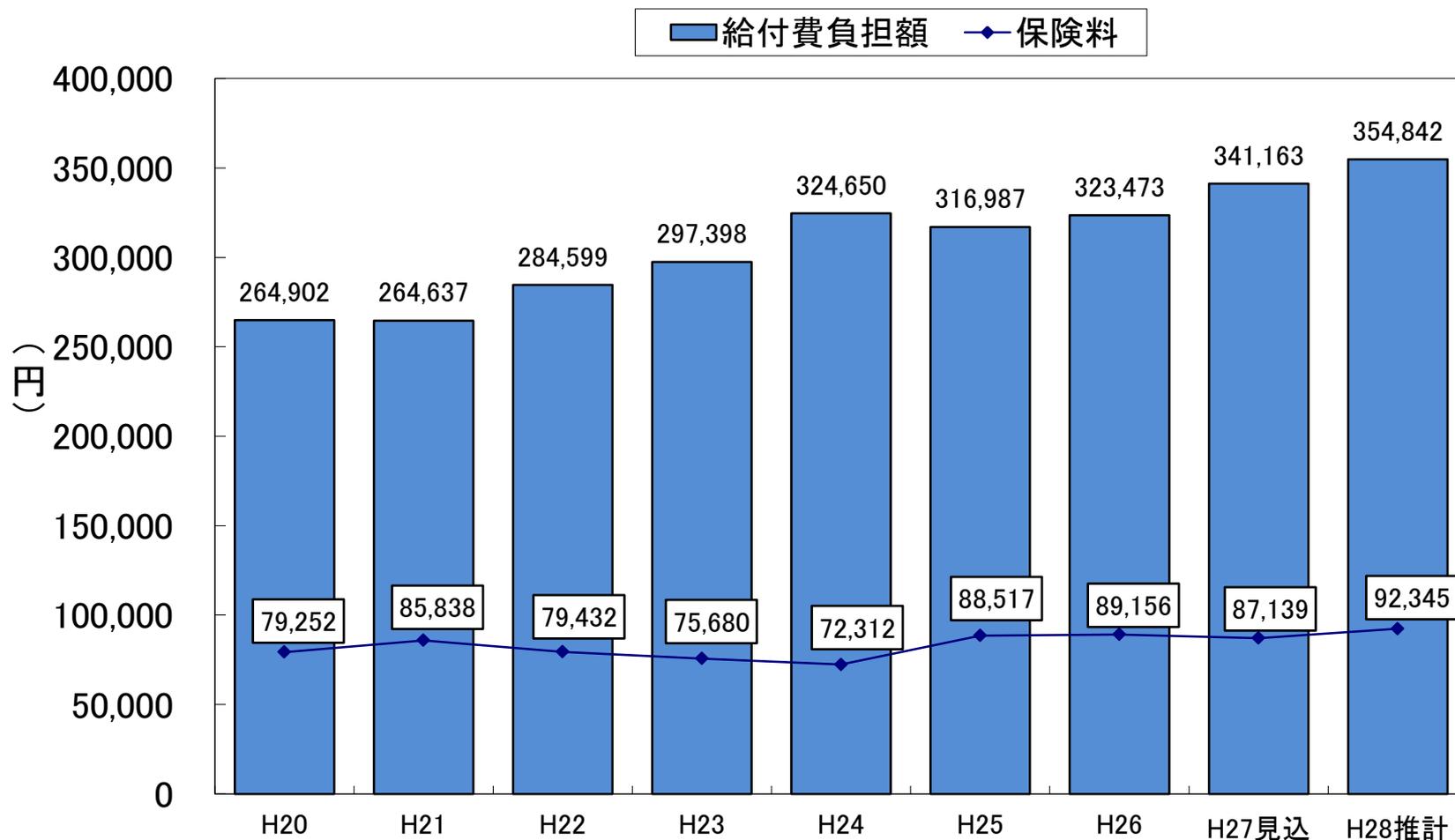
3 医療費の推移



注1) 総医療費は、H21～H26は各年度の実績。H27は見込。H28は予算編成時の推計。

注2) 1人当たりの医療費は、一般被保険者＋退職被保険者により算出。

4 一般被保険者一人当たりの給付費負担額及び保険料の推移

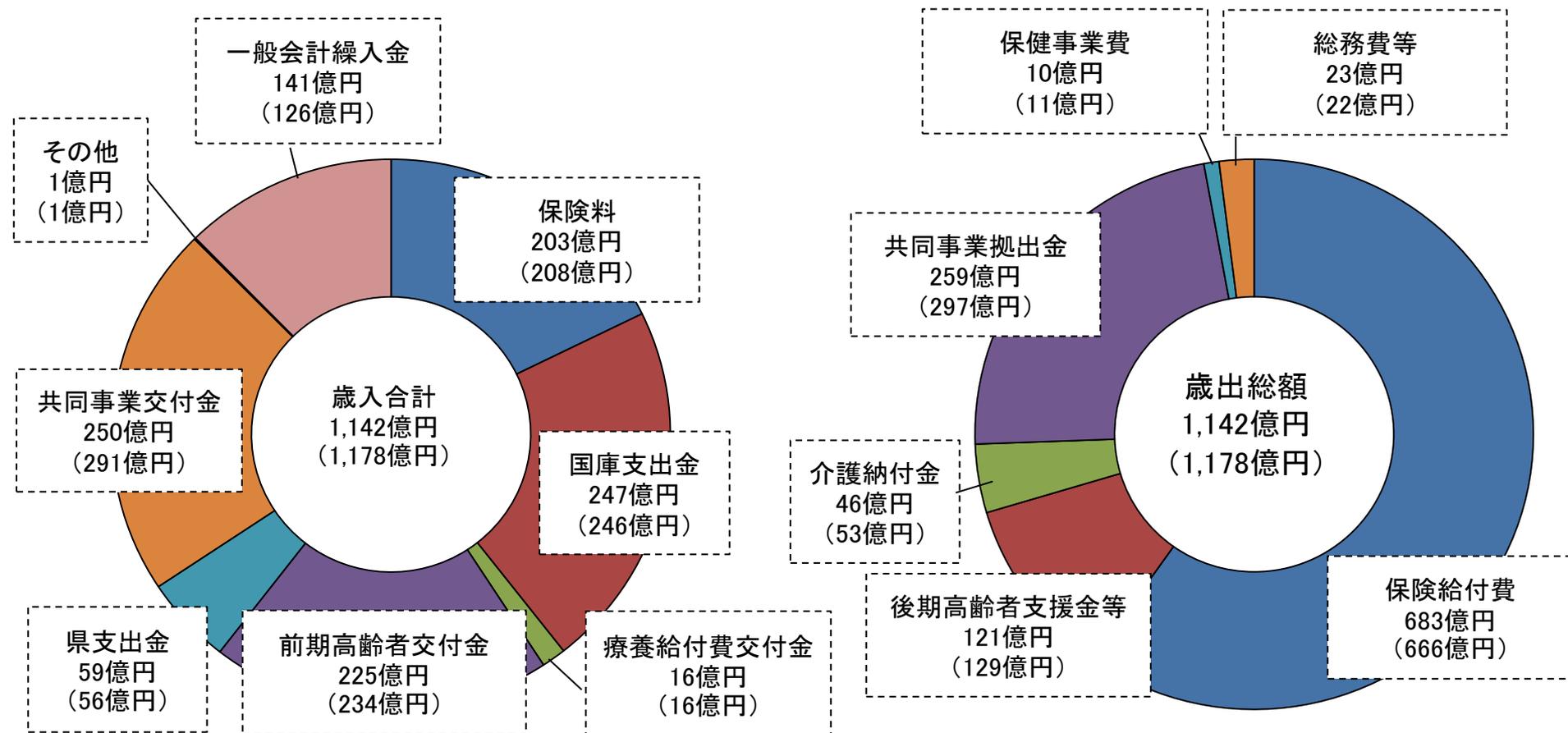


注1) 1人当り給付費負担額＝[医療給付費＋後期支援金]÷一般被保険者数

注2) 医療給付費及び後期支援金は、H21～H26は各年度の実績。H27は見込。H28は予算編成時の推計。

注3) 保険料＝医療分＋支援分

5 平成28年度国民健康保険事業特別会計予算案



注)各項目の()内の数値はH27年度当初予算額